

暫定2車線用ワイヤロープ LD種



東九州自動車道(末吉財部IC~園分IC)

暫定2車線高速道路の 安全性を大幅に向上します。

ラバーポールと同等のスペースで設置が可能、
拡幅工事の必要はありません。

暫定2車線用ワイヤロープLD種は、ラバーポールと同等のスペースで設置することができます。現在、ラバーポールが設置されている区間に車両の突破防止効果を備えたワイヤロープLD種を設置することで道路の安全性が大幅に向上します。また、道路の拡幅工事の必要がなくコンクリート基礎を設置しないことから短工期で施工することができます。

車両衝突時、衝撃を効率よく吸収し
安全に誘導します。

車両が衝突した際に中間支柱が変形して倒れ、ワイヤロープで受け止め衝撃を緩和し、安全に誘導します。暫定2車線用ワイヤロープLD種は、衝突時の乗員安全性を確保する高い衝撃吸収能力を有しています。



暫定2車線用ワイヤロープ LD種



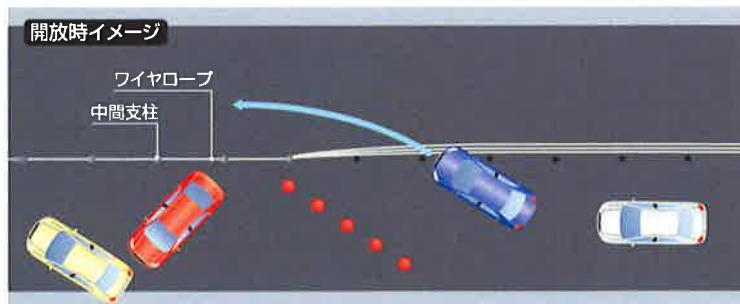
ラバーポール

事故発生後、早期に交通の解放が可能、
短時間で復旧工事が完了します。

事故等により車線がふさがれた場合、ワイヤロープを緩めて中間支柱を取り外し、片側交互通行にすることで交通を確保することができます。また、破損した支柱を交換し、ワイヤロープを調整することで復旧工事が完了します。早期に交通の開放、復旧工事が完了することで渋滞の緩和、追突事故の抑止等の効果が期待されます。



車両衝突実験



●暫定2車線用ワイヤロープ LD種の“LD”は、レールディバイダーを示します。



日東道(聖籠新発田IC~中条IC)



浜田道(旭IC~浜田IC)



東九州自動車道(西都IC~宮崎西IC)

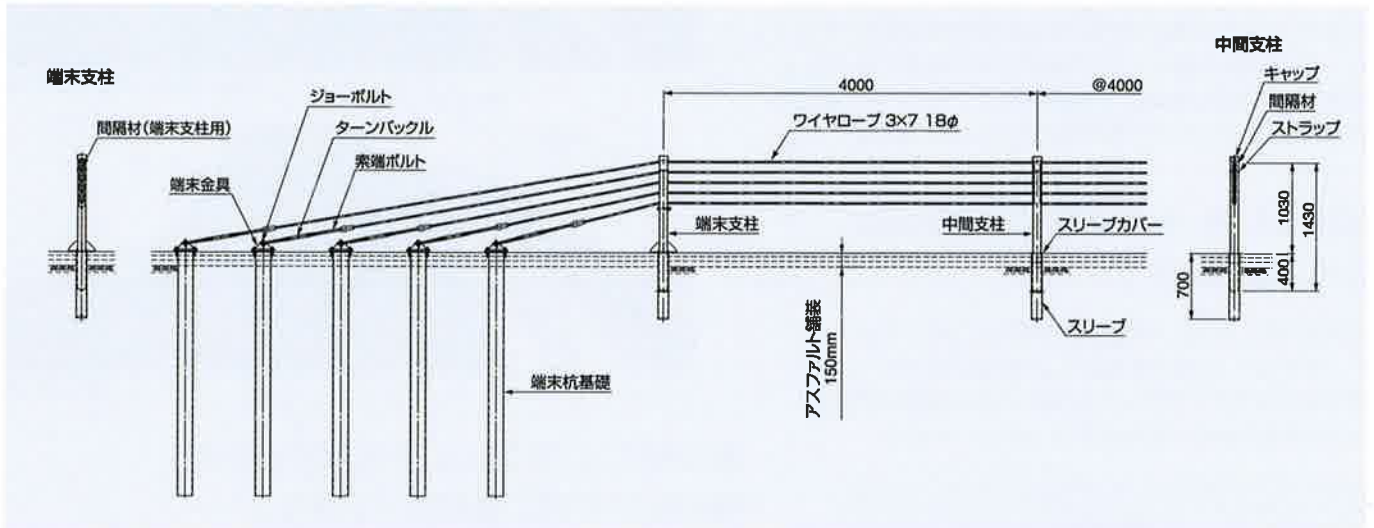
■施工実績

道路名	試行設置IC間	試行設置区間延長
道央道	落部IC~八雲IC	約8.0km
	八雲IC~国縫IC	約6.4km
	黒松内JCT~豊浦IC	約6.4km
道東道	夕張IC~むかわ穂別IC	約3.0km
	むかわ穂別IC~占冠IC	約2.0km
秋田道	北上西IC~湯田IC	約2.2km
	湯田IC~横手IC	約5.7km
	横手IC~大曲IC	約6.3km
日東道	秋田南IC~秋田中央IC	約3.5km
	聖籠新発田IC~中条IC	約8.3km
	中条IC~荒川胎内IC	約7.5km

道路名	試行設置IC間	試行設置区間延長
磐越道	西会津IC~津川IC	約3.4km
	三川IC~安田IC	約2.5km
	新津IC~新潟中央JCT	約4.8km
東海環状道	富加関IC~美濃関JCT	約1.8km
紀勢道	勢和多気IC~大宮大台IC	約1.1km
舞鶴若狭道	若狭三方IC~若狭美浜IC	約1.5km
浜田道	旭IC~浜田JCT	約10.3km
山陰道(江津道路)	江津IC~江津西IC	約2.8km
松山道	大洲北只IC~西予宇和IC	約5.8km
東九州自動車道	門川IC~日向IC	約3.0km
	西都IC~宮崎西IC	約8.6km
	末吉財部IC~国分IC	約8.2km
合計		約113km

※一部未実施区間有り

■製品仕様



部材	材質・規格	表面処理
ワイヤロープ	JIS G 3525「ワイヤロープ」に準拠 3x7 G/O φ18mm. 保証破断荷重160kN以上	素線に対し亜鉛めっきを施し、その付着量は300g/m ² 以上
端末金具	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	
端末支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼管」STK400 JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」HDZ55 (550g/m ² 以上)
中間支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼管」STK400	
スリーブ	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼管」STK400	

※本カタログに記載された仕様やその他内容は、品質・性能向上等のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。



鋼製防護柵協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 (鉄鋼会館5階)
TEL.03-5640-1848 FAX.03-5640-0535
http://www.sba-japan.com